

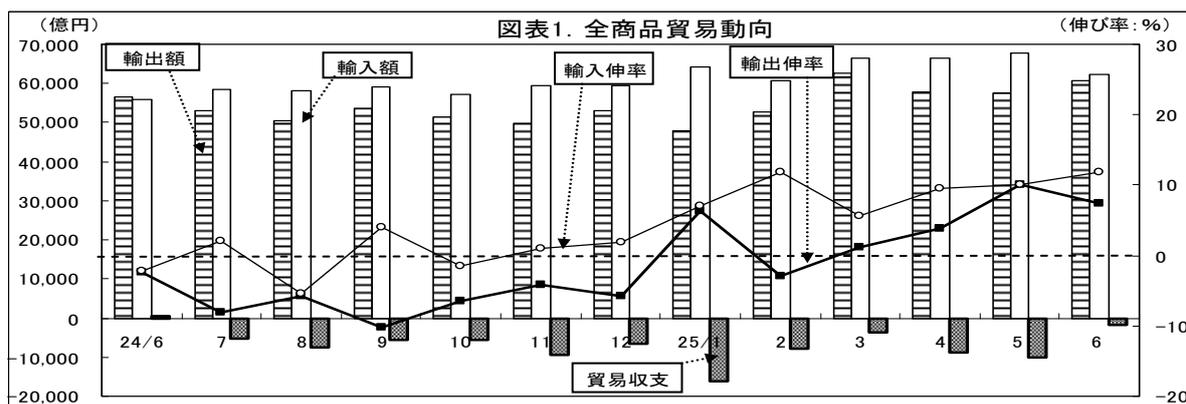
最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出、2ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2013. 8. 16.

平成25年6月の機械輸出額は3兆8,783億円、対前年同月比2.6%増と2ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②北米向けの二桁増が続き、EU向けがプラスになったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車の伸びが9.2%増となったことに加え、電子デバイスが3ヶ月連続で二桁増になったことなどによる。しかし、為替・営業日が10.1%の増加要因となったものの、実質的な伸び率は7.5%減と依然マイナスであった。7月は円安がやや弱まったが、営業日が1日多く、合計19.1%の大幅増加要因となり、機械輸出額が仮に6月の実質的伸び(7.5%減)が続くとすれば、前年比11.6%増と予想される。8日発表の貿易統計速報によれば、7月上中旬の全商品の輸出の伸びは11.7%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は4ヶ月連続でプラス、貿易収支は12ヶ月連続で赤字～

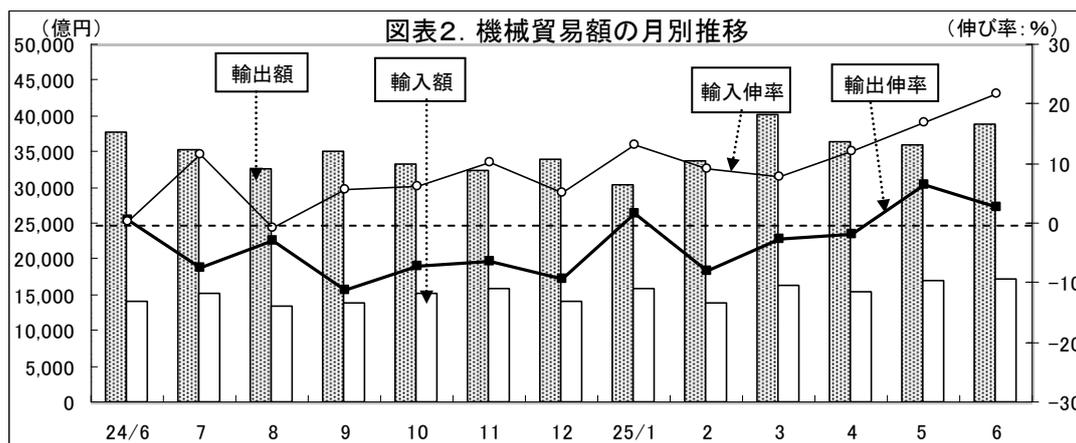
- 平成25年6月の全商品輸出額は**6兆610億円**、前年同月比(以下同じ)**7.4%増**と4ヶ月連続でプラスとなった(5月10.1%増)。これは円安による輸出額の拡大と全輸出額の約11%を占める有機化合物・プラスチック等化学製品(20.5%増)、約13%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(7.6%増)等の増加による。
- 輸入額は**6兆2,434億円**、**11.8%増**とプラス幅が拡大した(5月10.1%増)。これは、円安効果に加え、全輸入額の約13%を占める電子部品・通信機等電気機器(19.6%増)、約8%の原動機等一般機械(22.6%増)、約4%の自動車等輸送用機器(31.1%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、輸入の伸びが輸出を上待ったために、1,823億円と昨年7月以降12ヶ月連続で貿易赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出2ヶ月連続、輸入は10ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める6月の機械輸出額は**3兆8,783億円**、**2.6%増**と2ヶ月連続でプラスとなった(5月6.4%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年6月)と比べると**81.1%**となり、前月より1.5ポイント回復した(5月79.6%)。
- 一方、全商品輸入額の約28%を占める機械輸入額は、**1兆7,219億円**、**21.6%増**と10ヶ月連続の増加となり、国内需要を反映し、伸び率を拡大した(5月16.9%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の**102.3%**と3ヶ月連続してリーマンショック以前の水準を超えた(5月111.5%)。

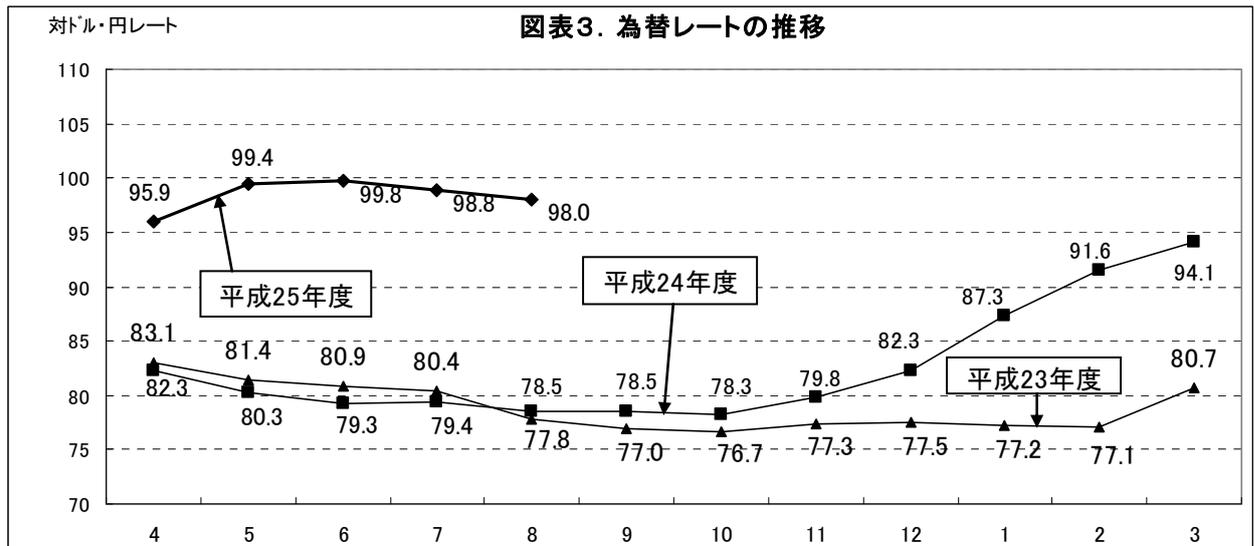


(2) 為替動向・営業日～6月は10.1%の増加要因、7月は19.1%の大幅増加要因～

1) 6月は1ドル=99.8円と円安が進み、前年に比べ25.9%の円安となった。また、対ユーロも130.5円と前年に対して30.5%と円安が進展し、合わせて約14.9%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日少ないため4.8%の減少要因となり、増加要因は合計10.1%となる。6月の輸出額は2.6%増であったことから、実質的伸び率は7.5%減とマイナス幅はやや拡大した(5月7.1%減)。

2) 7月は1ドル=98.8円とやや円高に動いたが、前年に比べ24.4%の円安となった。また、対ユーロでは129.3円で前年に対し30.7%の円安となり、合わせて約14.3%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日多く、4.8%の増加要因となり、合計19.1%の大幅な増加要因となる。

3) 8月は、対ドルが現状の98円とすれば、前年に比べて24.8%の円安、また、対ユーロも130円と34.9%の円安となり、合わせると約14.7%の為替増加要因となる。営業日は1日少ないので4.4%の減少要因となり、合計10.3%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米向け二桁増続く、EU向け14ヶ月ぶりプラス～

1) 機械輸出額が増加した地域的要因は、①機械輸出額の24.8%を占める北米向けで、全体の約51%を占める自動車(22.6%増)をはじめ、医療機械(33.9%増)、通信機械(25.0%増)、半導体製造装置(14.9%増)が増加し、14.3%増となったこと、②10.2%を占めるEU向けは、自動車部品(10.9%増)をはじめ、船舶(91.6%増)、重電気機械(31.2%増)、民生用電子部品(20.1%増)、医療機械(27.2%増)等が大幅にプラスとなり、4.5%増と14ヶ月ぶりのプラスとなったこと、③28.3%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けは、韓国(14.0%増)、台湾(12.2%増)、ベトナム(7.0%増)が大幅増となり、業種では、電子デバイス(20.7%増)、重電気機械(3.9%増)、自動車(3.5%増)、産業機械(2.1%増)等がプラスとなって1.8%増となったことによる。

2) 他方①機械輸出額の20.2%を占めるその他地域向けは、アフリカ(26.8%減)、中南米(19.8%減)が大幅なマイナスとなり、機種では、船舶(47.0%減)及び建設機械(16.3%減)が大幅にマイナスとなって6.5%減となったこと、②16.5%を占める中国向けが、自動車(2.2%減)、デジカメ等民生用電子機械(21.7%減)、電子デバイス(5.9%減)がマイナスとなり、0.9%減となったことによる。

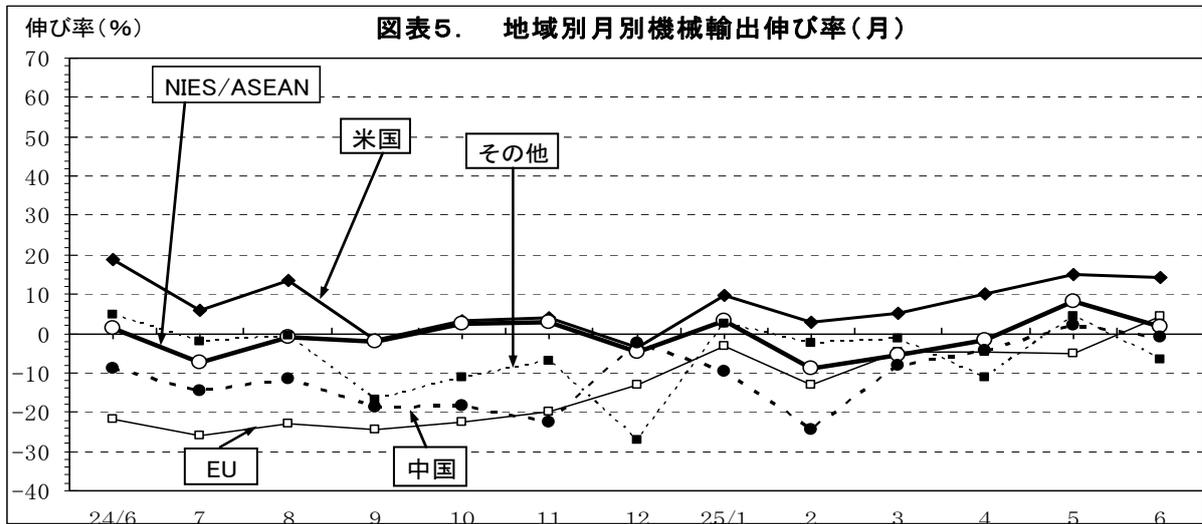
3) また、リーマンショック前の平成20年6月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が98%、北米が96%、NIES/ASEANが91%、その他地域が66%、EUは54%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/4			2013/5			2013/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	36,318	▲ 1.9	100	35,866	6.4	100	38,783	2.6	100	0.81
北米	9,148	10.2	25.2	8,772	15.1	24.5	9,635	14.3	24.8	0.96
EU	3,941	▲ 4.5	10.9	3,655	▲ 4.9	10.2	3,948	4.5	10.2	0.54
NIES/ASEAN	10,308	▲ 1.7	28.4	10,224	8.2	28.5	10,983	1.8	28.3	0.91
中国	5,689	▲ 4.5	15.7	5,938	2.1	16.6	6,391	▲ 0.9	16.5	0.98
その他	7,232	▲ 11.3	19.9	7,276	4.4	20.3	7,826	▲ 6.5	20.2	0.66

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2013/3		2013/4		2013/5		2013/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,058	▲ 1.5	1,894	7.2	1,798	17.5	1,799	14.0
台湾	1,762	6.5	1,559	▲ 1.2	1,769	15.9	1,894	12.2
香港	1,443	▲ 8.5	1,461	▲ 3.7	1,649	28.2	1,674	2.4
タイ	2,031	▲ 10.5	1,853	▲ 6.3	1,741	▲ 0.1	2,030	1.1
シンガポール	946	▲ 6.2	944	6.7	807	▲ 5.0	917	▲ 13.9
インドネシア	1,023	▲ 11.0	918	▲ 9.6	826	▲ 12.3	955	▲ 6.5
マレーシア	765	▲ 5.5	677	▲ 3.9	629	▲ 9.3	701	▲ 11.6
フィリピン	522	▲ 12.9	534	▲ 7.1	500	▲ 3.5	518	▲ 7.0
ベトナム	409	▲ 3.2	362	2.2	401	47.4	385	7.0
その他地域								
中南米	3,014	9.6	2,018	▲ 27.1	2,690	28.0	2,372	▲ 19.8
中近東	1,748	▲ 3.8	1,547	6.5	1,440	9.6	1,594	7.8
大洋州	1,388	▲ 13.6	1,188	▲ 15.9	1,029	▲ 3.7	1,327	9.8
ロシア東欧等	1,460	7.5	1,376	6.6	1,119	0.2	1,270	2.6
アフリカ	927	▲ 18.0	590	▲ 12.3	555	▲ 38.6	697	▲ 26.8
インド	485	▲ 11.5	417	0.5	325	▲ 12.4	400	▲ 0.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中4業種がマイナス、自動車は3ヶ月連続、産業機械は2ヶ月連続プラス～

- 業種別では、前月と同様に全19業種中4業種がマイナスであった。全体の約35%を占める自動車(9.2%増)が3ヶ月連続、産業機械(4.9%増)が2ヶ月連続でプラスとなったほか、電子デバイス、電子計算機、医療機械、繊維機械が二桁増となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのは医療機械、ベアリング、光学機械の3業種で、他方、電子計算機、民生用電子機械、通信機械、産業車両は、50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2013/4			機種名	2013/5			機種名	2013/6			対08/6比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	13,269	7.4	36.5	自動車	12,125	6.2	33.8	自動車	13,469	9.2	34.7	0.80
産業機械	6,095	▲ 6.6	16.8	産業機械	6,361	10.2	17.7	産業機械	6,534	4.9	16.8	0.87
電子デバイス	2,894	10.0	8.0	電子デバイス	2,985	16.4	8.3	電子デバイス	3,147	11.4	8.1	0.79
軽電気機械	1,913	6.2	5.3	重電気機械	1,867	10.2	5.2	軽電気機械	1,979	2.9	5.1	0.82
重電気機械	1,850	6.1	5.1	軽電気機械	1,814	8.4	5.1	重電気機械	1,939	3.2	5.0	0.90
民生用電子機械	1,505	▲ 14.8	4.1	船舶	1,656	4.7	4.6	民生用電子機械	1,625	▲ 14.0	4.2	0.51
軽機械	1,381	3.6	3.8	民生用電子機械	1,509	▲ 5.2	4.2	船舶	1,558	▲ 40.4	4.0	0.83
光学機械	1,203	▲ 5.1	3.3	軽機械	1,375	11.1	3.8	軽機械	1,507	7.2	3.9	0.86
船舶	1,145	▲ 47.5	3.2	光学機械	1,343	17.8	3.7	光学機械	1,347	7.0	3.5	1.06
建設機械	916	▲ 27.1	2.5	建設機械	876	▲ 19.7	2.4	建設機械	1,060	▲ 14.3	2.7	0.68
工作機械	610	▲ 28.6	1.7	工作機械	629	▲ 21.1	1.8	工作機械	688	▲ 19.6	1.8	0.79
通信機械	429	▲ 10.0	1.2	通信機械	409	5.5	1.1	電子計算機	489	21.3	1.3	0.51
電子計算機	396	▲ 0.1	1.1	電子計算機	371	2.9	1.0	通信機械	464	8.0	1.2	0.52
陸用内燃機関	367	3.2	1.0	ベアリング	359	3.4	1.0	ベアリング	397	2.3	1.0	1.10
ベアリング	364	▲ 3.7	1.0	陸用内燃機関	324	1.5	0.9	医療機械	389	25.3	1.0	1.50
医療機械	309	9.2	0.9	医療機械	312	12.1	0.9	陸用内燃機関	347	0.9	0.9	0.88
繊維機械	205	46.4	0.6	繊維機械	199	22.9	0.6	繊維機械	212	38.9	0.5	0.88
農業機械	150	▲ 0.5	0.4	農業機械	128	6.8	0.4	農業機械	171	8.4	0.4	0.85
産業車両	125	6.6	0.3	産業車両	110	▲ 1.1	0.3	産業車両	130	8.3	0.3	0.52
19業種合計	35,126		96.7	19業種合計	34,750		96.9	19業種合計	37,452		96.6	0.80

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カマ。

(5) 機種別動向～運搬機械、繊維機械等が大幅増加、船舶、デジカメ・ビデオ等は大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①NIES/ASEAN、北米向け**運搬機械**(39.5%増)、②中国、その他地域向け**繊維機械**(38.9%増)、③北米、EU 向け **TV**(27.2%増)、④NIES/ASEAN、北米向け**原動力機械**(26.8%増)、⑤北米、EU、NIES/ASEAN、その他地域向け**医療機械**(25.3%増)、⑥NIES/ASEAN、中国、北米向け**電池**(23.9%増)、⑦NIES/ASEAN、北米向け**電子計算機**(21.3%増)、⑧中国、北米向け**半導体製造装置**(16.9%増)、⑨北米、その他地域向け**乗用車**(15.1%増)、⑩NIES/ASEAN 向け**電子デバイス**(11.4%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、船舶(40.4%減)、デジカメ・ビデオ(35.9%減)、発電機(29.7%減)、電子応用装置(20.6%減)、工作機械(19.6%減)、建設機械(14.3%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位: 億円)

2013/4			2013/5			2013/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	205	46.4	運搬機械	298	49.4	運搬機械	302	39.5
原動力機械	501	45.2	金属加工機械	320	27.6	繊維機械	212	38.9
運搬機械	261	29.0	繊維機械	199	22.9	TV	85	27.2
電池	199	14.8	電池	184	20.7	原動力機械	369	26.8
電子デバイス	2,894	10.0	風水力機械	670	19.7	医療機械	389	25.3
TV	92	10.0	TV	77	18.3	電池	208	23.9
機種合計	4,152	11.4%	光学機械	1,343	17.8	電子計算機	489	21.3
			電子デバイス	2,985	16.4	半導体製造装置	1,151	16.9
			医療機械	312	12.1	乗用車	7,826	15.1
			分析・試験・検査機	771	11.5	電子デバイス	3,147	11.4
			機種合計	7,159	20.0%	機種合計	14,178	36.6%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円)

2013/4			2013/5			2013/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
録画・再生機器	9	▲ 48.1	電子応用装置	23	▲ 54.6	船舶	1,558	▲ 40.4
船舶	1,145	▲ 47.5	発電機	82	▲ 53.6	デジカメ・ビデオ	512	▲ 35.9
デジカメ・ビデオ	440	▲ 34.5	録画・再生機器	8	▲ 50.2	発電機	102	▲ 29.7
工作機械	610	▲ 28.6	工作機械	629	▲ 21.1	電子応用装置	37	▲ 20.6
建設機械	916	▲ 27.1	デジカメ・ビデオ	459	▲ 21.1	工作機械	688	▲ 19.6
半導体製造装置	860	▲ 25.3	建設機械	876	▲ 19.7	建設機械	1,060	▲ 14.3
エアコン	8	▲ 24.5	エアコン	8	▲ 14.7	機種合計	3,957	10.2%
磁気カード・ディスク等	149	▲ 12.9	原動力機械	370	▲ 12.2			
産業用ロボット	98	▲ 10.4	機種合計	2,455	6.8%			
通信機械	429	▲ 10.0						
機種合計	4,664	12.8%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10機内

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、携帯電話が大幅増、航空機類が大幅減～

1) 6月の機械輸入伸び率は21.6%増と10ヶ月連続でプラスとなり、国内需要増を反映してここ3ヶ月の伸び率が高い。その要因は、最大輸入機種の電子デバイス(45.4%増)に加え、電子計算機(19.0%増)、携帯電話(76.2%増)、白物家電(13.6%増)、乗用車(15.8%増)、自動車部品(14.7%増)、医療機械(20.4%増)、原動力機械(154.8%増)、分析・試験・検査機(12.6%増)の2桁以上の増加が大きく影響したためである。他方、減少したのは航空機類(31.9%減)、民生用電子部品(3.5%減)等であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の40%を占める中国(18.9%増)、北米(33.9%増)、ASEAN(12.4%増)、EU(27.9%増)、韓国・台湾(17.9%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2013/4				2013/5				2013/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,769	1.3	11.5	電子デバイス	2,011	36.1	11.8	電子デバイス	2,190	45.4	12.7
電子デバイス	1,739	30.3	11.3	電子計算機	1,740	2.5	10.2	電子計算機	1,790	19.0	10.4
携帯電話	907	20.2	5.9	携帯電話	1,356	174.6	7.9	携帯電話	1,262	76.2	7.3
自動車部品	759	23.3	4.9	自動車部品	897	27.0	5.3	航空機類	891	▲ 31.9	5.2
白物家電	717	14.4	4.7	白物家電	877	13.5	5.1	白物家電	867	13.6	5.0
乗用車	715	24.3	4.6	乗用車	774	0.5	4.5	乗用車	794	15.8	4.6
医療機械	502	18.4	3.3	航空機類	533	28.7	3.1	自動車部品	774	14.7	4.5
民生用電子部品	316	14.4	2.1	医療機械	498	7.2	2.9	医療機械	541	20.4	3.1
航空機類	298	▲ 57.0	1.9	民生用電子部品	343	▲ 3.6	2.0	光学機械	330	▲ 0.7	1.9
光学機械	294	0.0	1.9	分析・試験・検査機	318	20.0	1.9	民生用電子部品	314	▲ 3.5	1.8
風水力機械	259	17.8	1.7	風水力機械	290	12.7	1.7	原動力機械	308	154.8	1.8
分析・試験・検査機	258	16.1	1.7	光学機械	290	▲ 16.3	1.7	分析・試験・検査機	298	12.6	1.7
12機種合計	8,533		55.4	12機種合計	9,927		58.1	12機種合計	10,359		60.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械